

# 留学体験レポート

国際学部 2年 芳賀愛里子

## 1. はじめに

平成 29 年 8 月 23 日から 12 月 8 日までの約 3 カ月半、アメリカのセントラル・ミズーリ大学 (UCM) に留学しました。日本から離れて外国での生活を体験してみたいというのが私個人としての目的です。これから私のアメリカでの生活を紹介していきます。

## 2. 寮生活

私たち留学生は寮で生活します。私が暮らした寮は教室棟から徒歩 5 分くらいのところにあり、食堂にも近かったです。寮の中にはフロント、キッチン、洗濯場、ロビーなどがあります。ルームメイトは同じく NUIS の生徒でしたが、隣の部屋にはアメリカ人が 2 人いて、4 人でトイレ、お風呂、洗面所を共有しました。たまに警報のサイレンが鳴ると、同じ階に住んでいる人たちがうるさかったことを除けば比較的過ごしやすかったです。また、毎週火曜日に大学から近くのスーパーまで送り迎えしてくれるバスが出てたので、よく利用しました。

## 3. UCM

大学内はとても広く、飲食店、ジム、シアタールーム、図書館など、たくさんの施設がありました。また、毎日のようにどこかでイベントが開催され、よく参加しました。私が印象に残っているのは、ホームカミングパレードという各国の留学生がその国の伝統衣装を着て大学の近所を歩くイベントです。私たちは浴衣を着て、近所の子どもたちにお菓子を配りながら歩きました。多くの人に参加し、にぎやかで楽しかったです。

## 4. 授業

授業は基本的に月曜日から木曜日までありました。午前は 3~4 つのレベルに分けられたクラスで、様々な国の留学生たちと一緒に勉強しました。午後は基本的に NUIS の生徒全員で授業を受けました。宿題、プレゼン、テストが多く、勉強しない日がないくらい忙しい日々でしたが、帰国直前の卒業アワードでのスピーチを通して自分の成長を感じました。

## 5. Thanksgiving

11 月には Thanksgiving day があるので、10 日間ほどの休みがありました。生徒のほとんどが家に帰るため寮も食堂も閉まりました。留学生は多くの人が大学を離れて旅行するので、私も友達とカンザスシティ 4 泊 5 日の旅に出かけました。全て自分たちで計画を立てホテル、電車、施設のチケットを手配しました。様々なところに行くことができたので思

い出に残っています。また、大学の近くに住む人のお宅に招待され、夕食をごちそうになったこともいい経験になりました。

## 6. おわりに

このように日本ではできない貴重な経験ができ、留学してよかったと感じます。留学させてくれた両親、お世話になった全ての先生方、仲良くしてくれた友達に感謝しています。私は食物アレルギーを持っており、そのことが生活していく上で不安だったので留学初日から UCM の先生方に相談させてもらいました。先生方は真剣に話を聞いてくださり、いろいろ配慮をしてくださいました。このことにはとても感謝しています。先生方はこのように親身になって話を聞いてくださるので、留学先で困ったこと、不安なことがあれば相談してみることをおすすめします。

